私たちの新潟市は、市民みんなのしあわせを願いながら将来に向って前進しています。この前進は限りなく続くわけですが、昨年のような苦境の年でも、みんなと手を取り合って乗り越え理想の都市像をめざし進まなければなりません。

恒例の市のテレビ新春特別番組は「あすの新潟を描く」をテーマに、さる一日放送しました。

そこで、にいがた―市報―の新春企画として、このテレビ番組の内容を紙面に再現しました。

渡辺市長と水島新司の あすの新潟を描く！

―テレビ新春特別番組から―

出演者

水島新司さん
野球漫画で最高の人気を持つ市出身漫画家。東京国分寺市に在住、35歳

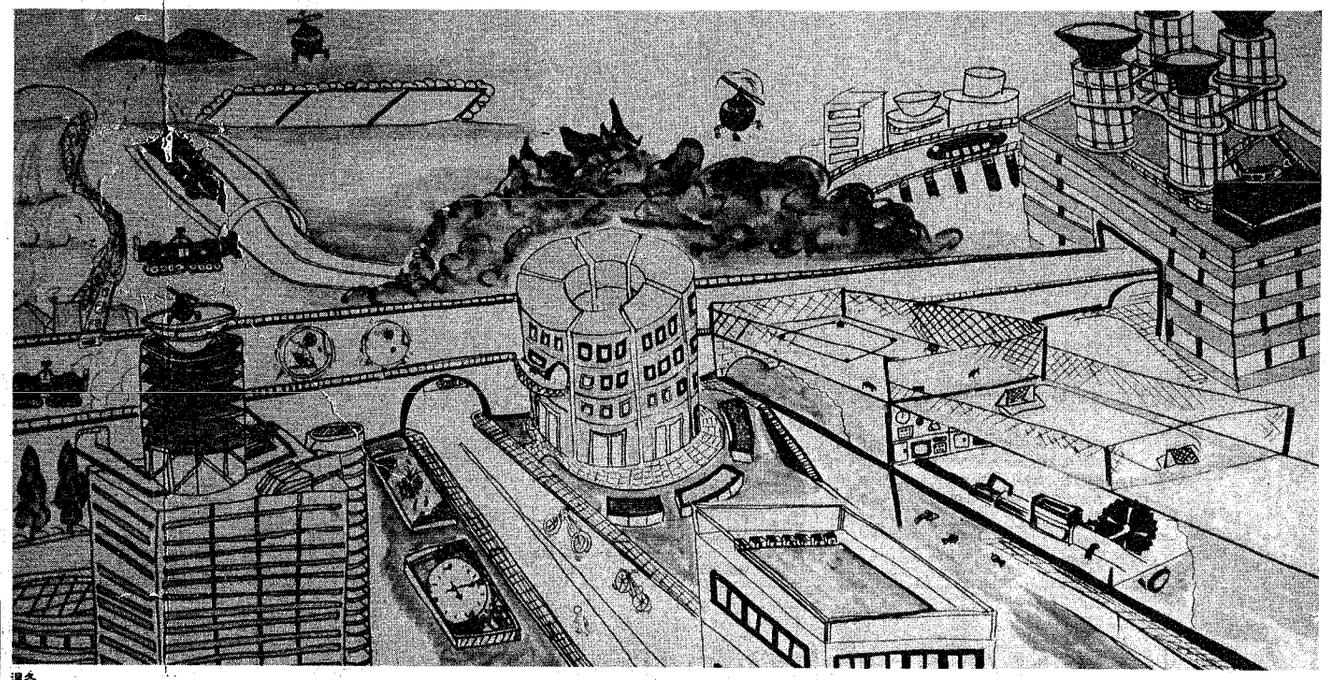
渡辺新潟市長

……絵を描いていただいた……
白山小学校6年の皆さん
塚本文博さん
笠原英雄さん
玉野紀子さん

司会　平林勝芳さん
BSNアナウンサー

青木テルさん
市テレビ番組"こんにちは新潟"でおなじみのリポーター

白山小6年生 子供が描く未来の新潟



塚本文博くん

道路は2階建て 太陽熱を活用

町の中がいつも暖く、自由に自転車に乗ったり遊ぶことができたらいいなあと思います。

太陽の光や熱を大きなレンズで吸収しビルの中にたくわえます。ビルの中はみんなオートクーション化しています。スイッチ一つで機械が作動します。機械を動かす人もみんなロボットがやります。このビルで吸収した熱や光はビルの中でたくわえて一年中昼でも夜でもその熱や光を家々に送り暖房や電燈に使います。

道路は二階建て、上は自動車、下は人間や自転車が自由に通ります。自動車は、ボールのようにまるくて、表面がゴムでできているのでぶつかってもひ害はありません。道路に雪や雨が降るときっきのビルの熱をそのまま使って雪や雨をじょう発させます。一階は太陽の光があたらないのでこれもビルからの熱や光で補います。

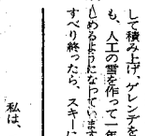
左下のビルはデパートで、売場があり店員はみんなロボットです。いろいろなスポーツの練習場があり、いつでも、だれでも無料でなんでもできます。

そのために、広い信濃川に、二階だてのふたをします。そして広い土地を作ります。

一階は、発電所です。水の速さを変えて、電気をおこし、学校、病院、スポーツセンターなどにおります。

二階は遊び場です。サッカー、野球、テニス場、プールや遊園地も作ってあって、いつでも楽しむことができます。

また川の中は養魚場になっています。鮭やますそのほかを飼っています。この頃、テレビや新聞をにぎわして、熱帯地方の植物をうえたり、世界各地から、とりよせた、動物たちをかっておいて、長いプールに乗って、遠行する人に見せたらいも、人工の雪を作って一年中スキーが楽しいと思います。そのほか、森林を利用しすべり終ったら、スキーについでいる、います。



笠原英雄くん

こんなになったらいいなあ！

わたしは、学校のグランドがせまくて野球などをすると、他に遊んでいる人に、球が当ったりぶつかったりして、めいわくしています。もっと広くて、野球やサッカーが思いきってできる、あぶなくないようなグランドがあったらいいと思います。

玉野紀子さん

信濃川にふたをしスポーツセンター

川の魚を育てます。休み時間などに、男子が、魚をとる場所がなくなっていることを嘆くして、熱帯地方の植物をうえたり、世界各地から、とりよせた、動物たちをかっておいて、長いプールに乗って、遠行する人に見せたらいも、人工の雪を作って一年中スキーが楽しいと思います。そのほか、森林を利用しすべり終ったら、スキーについでいる、います。

そうちを動かすと、下から上にもすべっていけます。

佐渡まで、海底トンネルで、モノレールに乗って、わずか10分で到着します。トンネルのまわりはきっとおっていて、行く途中に、自然の魚や海底のようすが見られます。

海岸には、夏は天ねんのプール、冬は人工的におこしたスケート場にします。

また、森林をふやします。

そこを暖くして、熱帯地方の植物をうえたり、世界各地から、とりよせた、動物たちをかっておいて、長いプールに乗って、遠行する人に見せたらいも、人工の雪を作って一年中スキーが楽しいと思います。そのほか、森林を利用しすべり終ったら、スキーについでいる、います。

佐渡まで海中が見えるモノレールトンネル

ぼくは、広い海岸で自由に遊んでみたい。ます。そこにスキー場を作ります。雪が降ったら、機械で雪を集め、四角して積み上げ、グレンデを作ります。夏で駅と佐渡まで、遠行する人に見せたらいも、人工の雪を作って一年中スキーが楽しいと思います。そのほか、森林を利用しすべり終ったら、スキーについでいる、います。

温水プールでも泳げる

夢だったことが今は実現

司会　明けましておめでとうございます。私たちのまち新潟市は人口四十二万をこえ日本海側の拠点都市として、また対岸との窓口としての地位と役割を背負っています。

六十年には、人口は五十三万、十六万一千世帯となるものと推則されており、大きな国際都市になるといえるわけですね。

さて、将来の新潟市が、いったいどうなるのか、夢とか希望とかをもお聞きしながら、いろいろと話を進めてまいりたいと思います。

〈出演者の紹介……〉

青木　ところで、水島さん、子供の頃の夢といいますと、どんなことだったですか。

水島　やはり、遊び場や野球場がたくさんあったらなあ…と思っていたようです。それにより海で遊んだもので、冬でも泳げないものかと思ったものです。

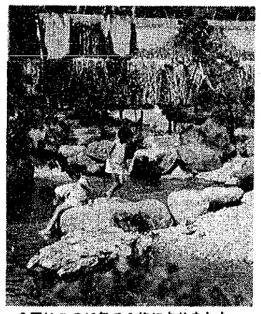
司会　新潟へ帰ってくるたびに、発展ぶりが目にとまり、結構なことですね。

市長　水島さんが中学を出た時（20年前）は白山球場一つだったが、鳥屋野と小針に、またライトの出来る少年野球場も出ましたしね。それにプールだって温水プールも今はありますし、まあ、いただきましょう。

青木　それでは将来、こんな風になってほしいという夢がありだとお思いますが、あすの新潟」ということで描いていただきたいと思います。スタジオには白山小学校の生徒さんにきていただいておりますから、子供さんたちにも描いてもらいましょう。

その時の夢は実現しているといっていいんじゃないですか。

青木　それでは将来、こんな風になってほしいという夢がありだとお思いますが、あすの新潟」ということで描いていただきたいと思います。スタジオには白小学校の生徒さんにきていただいておりますから、子供さんたちにも描いてもらいましょう。



公園はこの10年で2倍になりました。
1人当たり0.89平方に〈青山水道公園〉

砂浜が帰ってくる！

市民みんなの期待

司会　水島さん、ふるさと新潟に、抱っている夢をおもちですか。

水島　浜育ちの私にとって、今もう一度砂丘豊かな海岸になるものかどうかという願いですね。

市長　いや、それは夢ではないことなのです。立った時、やなければと思いましたね。ちょうど今、東港を掘り込んで海の沖へ出る砂を港を掘り込んで、時期も、とにかく東港の砂をもってくればよいということなんです。経済的にも安価でもあるし、技術面でも専門家からもうー度、砂丘豊かな海岸になれることに感動しています。

司会　明るい話題ですね。

市長　砂浜が帰ってくるんですね。

水島　あの砂丘が帰ってくるんですか！

司会　あの北原白秋の唱った砂山が帰ってくるんですね。

水島　どれくらいの広さでいつ帰ってくるんですか。

市長　失われてしまった三百ヘクタールを一挙に渡って取りもどそうというのです。

司会　そうそう、絵が出来上ったようです。説明を聞いてみましょう。

〈水島さんの絵は、市街地の交通機関として、モノレール化とビルへのヘリコプター化、思いやりの心が大切という福祉、自動車をさえぎる歩道上のエアーカーテン、それにビル屋上には緑を鳥をという絵〉

〈子供たちの絵は、石地蔵のとおり〉

市長　すばらしいじゃないですか。いや感心しました。

それにしても、水島さんの子供のころの夢が実現しているのですから、これも夢でなくなる日がくるでしょう。

青木　次に人間味あふれる福祉都市についてなんですが、昨年、身障者モデル都市に指定されましたね。

市長　全国で二十三都市あるんですが、このモデル都市の事業を含めて老人や子供をはじめ市民みんなが健康でしあわせな生活をおくれるような施設面、制度面も充実するよう進めています。

司会　そして教育文化面もなんですが、スポーツと音楽都市として市民の心に定着してきましたし、一層ふさわしい町づくりが必要ですね。

市長　学校教育の充実はもちろんのこと、社会教育面でも口十万人に一つの公民館とか市内四ブロックに分けスポーツセンター一つずつとかスポーツと音楽都市にふさわし、美術館、博物館の建設ことは言葉センターをつくる予定でもう仕事を進めています。

スポーツ面では、施設の建設とスポーツ行事の充実にもりを入れてゆくことになります。

水島　スポーツと音楽都市を宣言して生活の中に取り入れておりますね。

青木　公園の多い町づくりは、市民の何よりの願いですから、ぜひ実現してほしいですね。

水島　よく歩行者天国で遊ぶ子供たちの光景を見ますが、これでは伸び伸びと育てといっても無理ですね。そういう意味でも公園を動かす人もみんなロボットがやります。このビルで吸収した熱や光はビルの中でたくわえて一年中昼でも夜でもその熱や光を家々に送り暖房や電燈に使います。

道路は二階建て、上は自動車、下は人間や自転車が自由に通ります。自動車は、ボールのようにまるくて、表面がゴムでできているのでぶつかってもひ害はありません。道路に雪や雨が降るときっきのビルの熱をそのまま使って雪や雨をじょう発させます。一階は太陽の光があたらないのでこれもビルからの熱や光で補います。

左下のビルはデパートで、売場があり店員はみんなロボットです。いろいろなスポーツの練習場があり、いつでも、だれでも無料でなんでもできます。

そのために、広い信濃川に、二階だてのふたをします。そして広い土地を作ります。

一階は、発電所です。水の速さを変えて、電気をおこし、学校、病院、スポーツセンターなどにおります。

二階は遊び場です。サッカー、野球、テニス場、プールや遊園地も作ってあって、いつでも楽しむことができます。

また川の中は養魚場になっています。鮭やますそのほかを飼っています。この頃、テレビや新聞をにぎわしてしまったのは、熱帯地方の植物をうえたり、世界各地から、とりよせた、動物たちをかっておいて、長いプールに乗って、遠行する人に見せたらいも、人工の雪を作って一年中スキーが楽しいと思います。そのほか、森林を利用しすべり終ったら、スキーについでいる、います。

信濃川にふたをしスポーツセンター

佐渡まで海中が見えるモノレールトンネル

ぼくは、広い海岸で自由に遊んでみたい。ます。そこにスキー場を作ります。雪が降ったら、機械で雪を集め、四角して積み上げ、グレンデを作ります。夏で駅と佐渡まで、遠行する人に見せたらいも、人工の雪を作って一年中スキーが楽しいと思います。そのほか、森林を利用しすべり終ったら、スキーについでいる、います。

温水プールでも泳げる

夢だったことが今は実現

砂浜が帰ってくる！

市民みんなの期待

市民の期待

市民みんなの期待

市民みんなの期待

市民みんなの